



## 「第2回学校運営協議会」を開催しました

11月24日(水)に2回目の「学校運営協議会」を開催しました。はじめに、2学期の学校行事の取組についての報告を校長が行いました。コロナ禍の中での学校生活は未だ様々な制約があり、不自由なことも多いです。しかし、その中で工夫を凝らし、皆で協力をしながら、行事や学習に取り組むことにより、子供たちは成長しています。その様子をお伝えしながら、日頃の保護者様、地域の皆様の本校教育活動へのお力添えに感謝しました。その他、今年度よりスタートした GIGA スクール構想における「一人1台タブレット活用」や、児童増に伴う教室工事、基山中学校区小中一貫教育等が話題となりました。

## 学校運営協議会でどんな活動をしていくか？

次に、「基山小学校運営協議会」として、今後、地域代表者として学校運営にどのように関わっていき、どのような活動をしていくべきか、会の方向性について話し合いました。

校長が、「CS(コミュニティ・スクール)は、日本に民主主義を根づかせ、地方の考える力をつけるための方策」という CS 制度導入時の中教審副会長木村孟氏の言葉を紹介し、協議に入りました。委員からは、建設的で活発な意見・アイデアがたくさん出されました。

基山小の課題としては、「児童数増・学級増に伴う施設容量、教育環境」が挙げられます。これらを受け、学校の環境整備や学習サポートとしてできることは何か、委員内で交わされた意見をいくつかご紹介します。



### ■ 「(仮)基山小よろずお助け隊」発足 ■

「学校では、例えば『家庭科の実習ボランティア(ミシンや裁縫、調理実習)』、『そろばん学習ボランティア』、『九九暗唱』、『昔遊び』などで、保護者様や地域の方々にサポートをいただくと大変助かります。」「(どなたにボランティアをお願いすればよいのか…)、そんな時に、地域の様々な団体と学校との橋渡しとなって、本協議会が、きっかけづくりのお手伝いをしていければいいですね！」

### ■ 学校の花壇の手入れ ■

「学校の花壇の一角を『地域の花壇』として、園芸のお好きな方、得意な方が花のお世話をしてくださっている学校もあると聞いたことがありますよ。」「基山小でもそのようなことができれば、学校は美しい花でいっぱいになりますね!」「学校でも【花いっぱい運動】は、園芸委員会や5年生の『総合的な学習の時間』の取組として行っていますが、子供たちと地域の方々との交流も増えますよね!」

(裏面へ)

## ■ PTAと地域の皆様との連携 ■

「読み聞かせボランティア、基山小PTA新聞作成、ベルマーク集計等のPTA活動を、地域の方々にも御協力いただくと、お仕事の合間を縫ったり、時間を調整したりしながらPTA活動に参加されている保護者の方々の負担が軽減されるかもしれませんね。」「子育ての先輩である地域の方々、これから就学するお子さんがおられる保護者の方々と活動と一緒にすることで、子育ての不安や悩みも解消されるコミュニケーションの場、温かい交流の場が増えるかもしれませんね。」

## ■ 子供たちの地域行事への参加の活性化 ■

「少子化の影響で、各区での様々な行事や活動に子供たちの参加が少なくなっているそうです。」「伝統のある地域の行事を絶やすことなく、基山の子供たちで守り続けていくために、私達が地域と連携し、何かできることはないでしょうか。」



【学校の様子を参観していただきました】

## 元気なあいさつのできる基山っ子をめざして

発足1年目の「基山小学校運営協議会」です。コロナ禍の中、学校はやむを得ず保護者の方々や地域の方々の来校をご遠慮いただいている状況ですが、従来の活気あふれる学校生活が再開される日を待ち望みながら基山っ子の健やかな成長を願い、これからも会の運営を進めてまいります。

いつも温かく見守ってくださる地域の方々に支えられ、子供たちは安心して学校生活を送ることができています。雨の日も風の日も、毎朝欠かさず登校・下校を見守ってくださる交通指導員の皆様をはじめ、地域の方々に大きな声であいさつのできる子供たちであってほしいと願っています。学校でももちろん指導してまいります。保護者の方様のお声掛けもどうぞよろしくお願いいたします。

